

日韓沿岸島嶼問題シンポジウム「九州・佐賀の離島問題」

近海小島の未来像

— 佐賀＝玄海諸島の事例(松島と向島) —

小林 恒夫 (佐賀大学海浜台地生物環境研究センター教授)

1. 玄海諸島＝日本の離島の縮図

日本の離島(離島振興法指定離島に限るが)の面積シェアは2%で唐津市のそれも2%、日本の離島の人口シェアは0.54%で唐津のそれは1/7%であり差はない。以上から、唐津市の離島(玄海諸島)は面積・人口の割合において日本の離島と極めて類似(面積シェアはほとんど同じ)しており、この点で唐津における離島の位置づけは日本の離島の縮図的存在と見て良い。

2. 7島の実態は多様

玄海諸島の島々の特徴として「自立的漁業島嶼群」(須山聡氏・2003)という指摘もあるが、図1のように、高島や加唐島では漁業就業者割合は3分の1ほどで、漁業以外の就業者割合も少なくなく、高齢者や非就業者を考慮すると、漁業者割合はもっと低いと考えられる。

とすると、玄海諸島の島々が抱える問題は多様であり、高齢化の高さを考えると、玄海諸島の問題は日本社会の問題と共通する部分も多い。

表1 離島の位置(2005年)

		全国	離島計	離島の 全国シェア	佐賀県	唐津市 (合併後)	7島	7島の 県内シェア	7島の 市内シェア
		A	B	B/A	C	D	E	E/C	E/D
面積(km ² , %)		377914.78	7593.53	2.01	2439.58	487.45	10.96	0.45	2.25
人口(人, %)	X	127767994	692997	0.54	859205	129302	2197	0.26	1.70
世帯数	Y	49566305	284241	0.57	302591	47455	792	0.26	1.67
1世帯人口(人)	X/Y	2.5777188	2.44		2.84	2.72	2.77		
高齢人口割合(%)		20.17	29.65		23.61	25.11	35.09		

資料：『2007離島統計年報』日本離島センター、2008年。

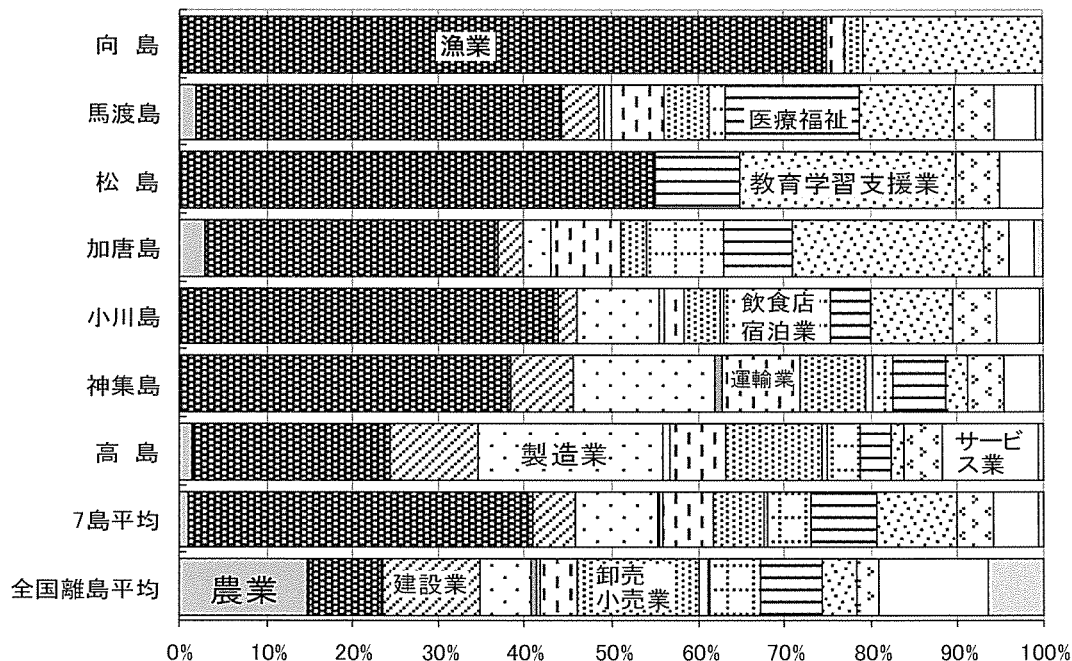


図1 産業別就業者数割合(2005年)

資料：『離島統計年報2007』日本離島センター、2008年。

3. 人口

人口100人未満の2つの小島の人口動向をみると(図2と図3)、向島では他の多くの島同様に、人口が減少したのに対し、松島では1990年代以降増加したのが注目される。その結果、かつては向島の人口は松島の2倍ほどあったが、2006年では両島の人口は同程度となった。

4. 漁業

(1) 向島も松島も漁業中心の島(図1)

向島も松島も漁業が中心の島であり、またその漁業の内容もともに素潜り漁(海士)が中心であることも共通しており、両島は人口規模だけでなく産業的にも類似の構造を呈している。

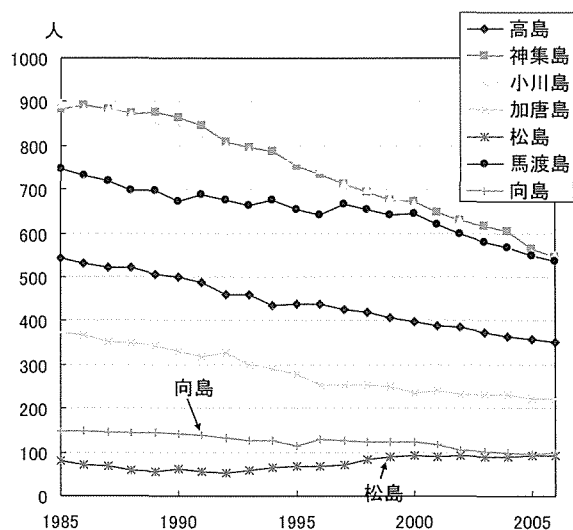


図2 7島の人口の推移

資料:『離島統計年報』各年版、日本離島センター。以下も同じ。

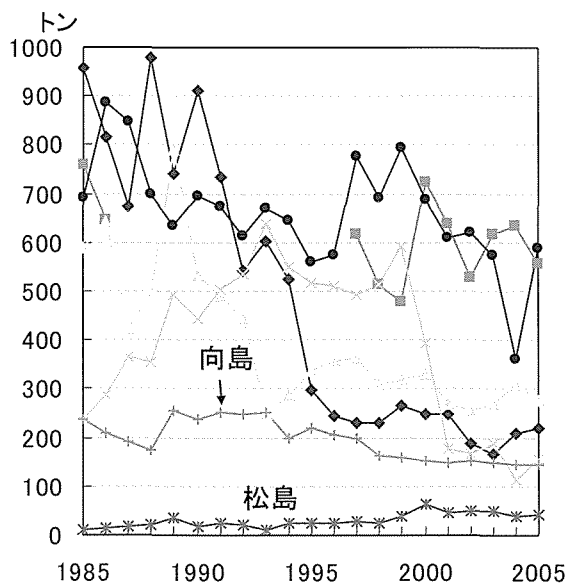


図4 7島の漁業生産量の推移

(2) 向島と松島の漁業の推移

漁業生産量は向島では他の島々同様に減少したが、松島では増加傾向を示した(図4・5)。

5. 向島(海士・海女の島)の動向

(1) 漁業の動向

水揚げ額が減少傾向(図6)。

水揚量も、全体・漁業世帯1戸当たりでも減少傾向(図7、図8)。

(2) 性別構成

20～30代の男性は少なからず存在しているのに対し、同世代の女性が皆無である。

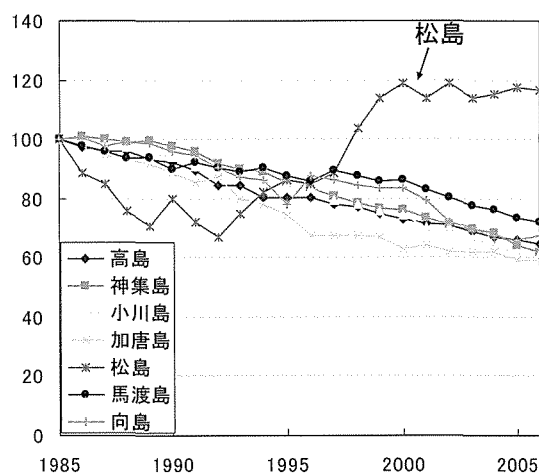


図3 7島の人口の推移(1985年=100)

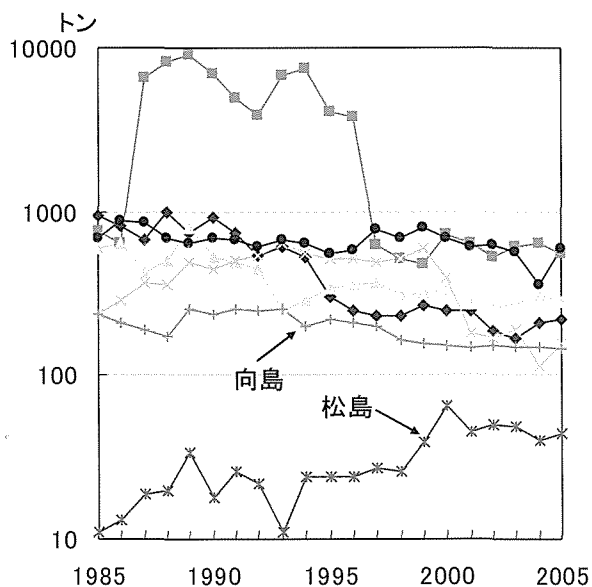


図5 7島の漁業生産量の推移(縦対数表)

(3) 小中学校の児童・生徒数の激減と廃校問題

2009年度、向島小中学校には小学4年生と中学3年生がそれぞれ1人いるが、2010年度には中学生はゼロとなり、廃校となった。また目下未就学児は皆無のため、現状が維持されれば、2012年度からは小学生もゼロとなり、2012年度から島の学校はなくなる(中学1年生は本土に

通学)。

もしそうなれば、連鎖反応として2012年春には教員世帯がすべて離島し、島の世帯数は最終的に20に減る。

6. 松島(海士の島)の動向

(1) 島内人口増加の要因

図3で見たように、1990年代に松島の人口が50人ほど増えたのは、直接的には、この間に島出身者が島に戻ったり、島の男性のもとに島外の女性が嫁いできたりして、島への人口移動があったことが要因であった。細かく述べると、まず直接的には大人6人・子供11人の家族でのUターンの3事例と島外からの嫁入りが5事例、およびその他のUターンによる大人3人・子供7人の移入があったことによる。そしてまた、結婚後の出産が伴って、図11のようにこの間にこれだけの人口が島にプラスされた。なお同時期に逆に離島した人もいたが、それ以上に入っ

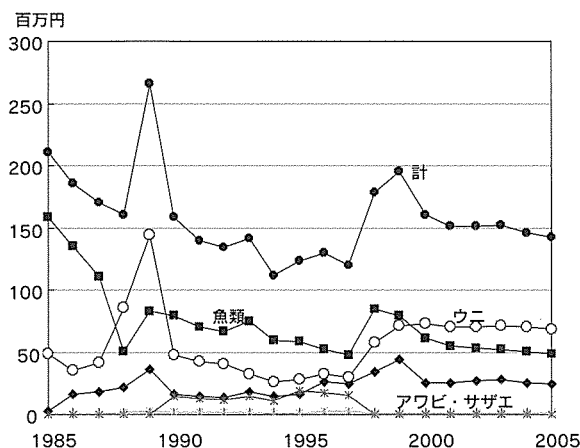


図6 向島における漁業種類別水揚げ額(属人)の推移

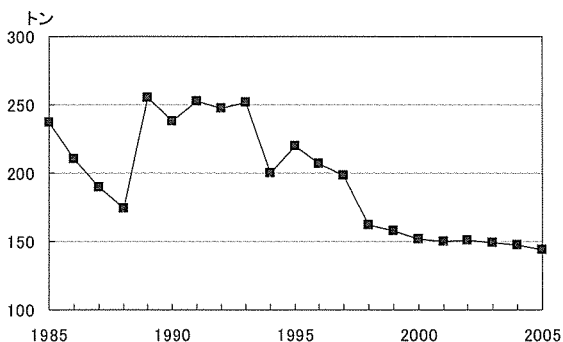


図7 向島における水産物水揚量(属人)の推移

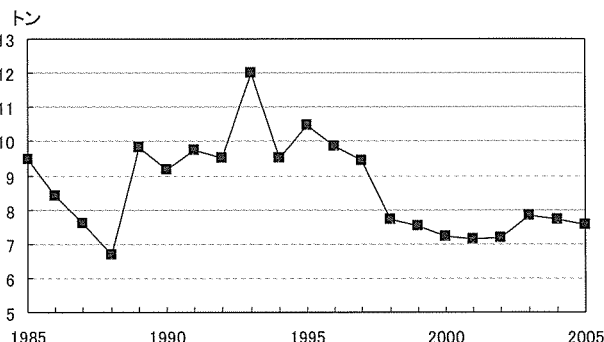


図8 向島の漁業世帯1戸当たりの漁業生産量の推移

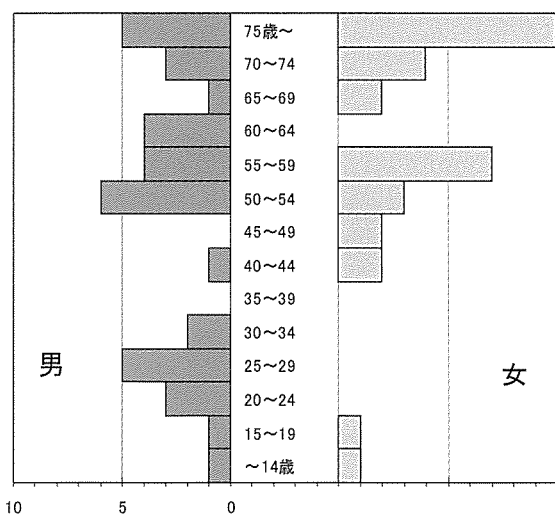


図9 漁業世帯の世帯員構成(2009年)

資料: 島民世帯世帯調査結果(当研究センター、2009年2月)。

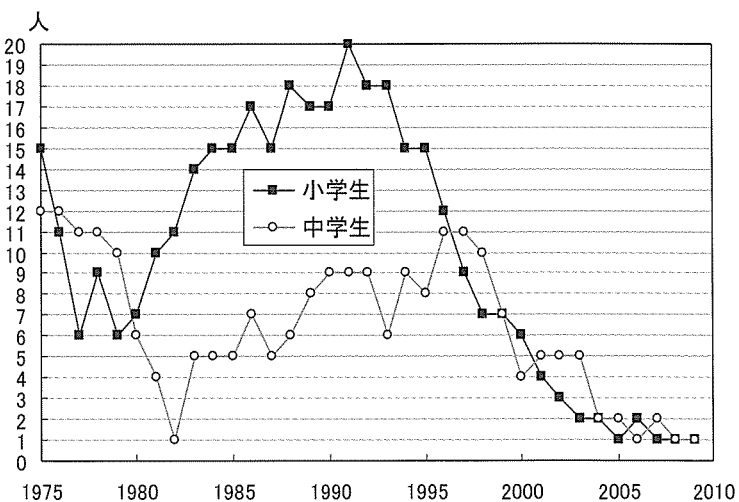


図10 向島小中学校の児童・生徒数の推移

資料: 向島小中学校資料。

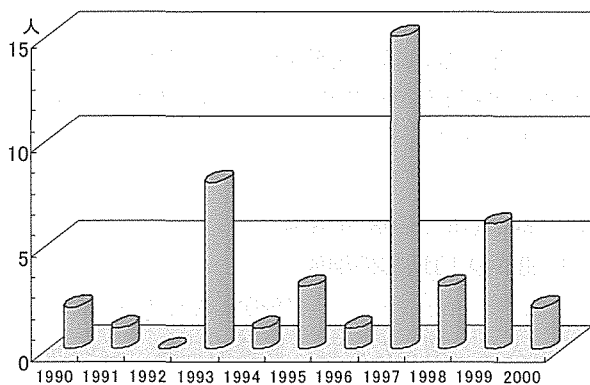


図11 1990年代における松島の人口増加状況
(松島に移住または島で誕生した人の数)

資料:島民世帯世帯調査結果(当研究センター、2010年5月末)。

てきた人の数のほうが多かったため、この時期に島の人口は増えたのである。

(2)人口増加による小学校分校の開校と新たなステージへの移行

かつて小学校(加唐島小学校松島分校)は小学生がいなくなったために1988年以降休校になっていたが、1990年代以降、上述のようなUターンや嫁入りによって人口が増加し、小学生数も増加したため、1996年に開校(再開)となり、今日に至っている。

また2000年からは中学生も増加したため、彼ら・彼女らは隣の加唐島の中学校にスクールボートで通学している。

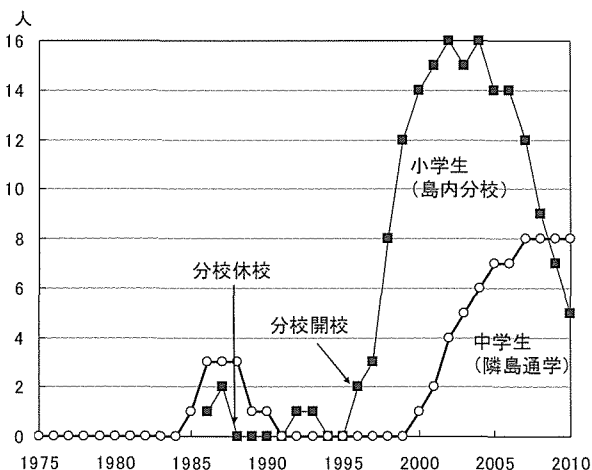


図12 松島における小学生と中学生の数の推移

資料:加唐島小中学校資料。

しかし、2000年代に入ると小学生数も減少に転じ、引き続き2020年ころからは中学生数も減少に転じ、また新たなファミリー＝人口サイク

ルのステージに入った。

唐津市は2010年からの新たな島作り対策事業でお嫁さん対策を充実させる。この機を生かして行政と島民が一体となって若者対策に取り組む必要があろう。